

大賞

酒井かな子

＜自営業者の「嫁」から「社会福祉士」へ「自己覚知」を深めて
－自己肯定感を取り戻すまで＞

＜要旨＞

このレポートでは、私が受けたDV被害と家族従業員として働いた経験を記述し、さらにその経験を軸に対人援助で重要とされる「自己覚知」を試みた。私自身がメタ認知を高め私を「個人」として捉え、記述した。さらに、ソーシャルワークの理論、概念を基盤として「私の視点」から過去を振り返ることから得られるナラティブアプローチの可能性とレジリエンス、「個人」の視点からは、「個人」の内外の要因とミクロ・メゾ・マクロレベルでの社会の実体と社会システムとの関係性、そこから見えてくるジェンダーの視点、充足されていない社会資源を考察した。加えて「自己覚知」、ソーシャルワークとの出会いにより変化した意識について記述した。

人が困難な状況に陥ることは、個人と社会システムの交互作用により生じているという理解を促し、人が否定されない社会の実現に向けて、私たちの課題を考える機会としたい。